

『消化器疾患患者の退院遅延に影響した要因の抽出 ～DPCⅡ期超えの消化器疾患患者～』

【目的】 退院が遅延した消化器疾患患者に影響を及ぼした要因の抽出

【期間】 研究許可日～2022年2月28日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2020年10月1日～2021年8月31日まで入院していた方で、入院期間が長期化した消化器外科と消化器内科疾患の方 計250人

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：無し

情報：対象患者の退院遅延要因に関連する以下の項目を抽出する。

- ・ 氏名、年齢、性別
- ・ 在院日数、DPCⅡ期を越えてから退院までの日数
- ・ 入院時転倒転落リスクアセスメント項目
- ・ 入院時又は入院直前、最小値のAlb値
- ・ 既往の有無（糖尿病・脳卒中・呼吸器疾患・心疾患）
- ・ 同居の有無、要介護認定の有無
- ・ 入院時の認知症スクリーニング値
- ・ 排泄介助の有無
- ・ 絶食～経口摂取開始までの日数が3日間以上
- ・ Barthel Index 値
- ・ 3日以上の上のドレーン挿入の有無

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 新3病棟 ・ 看護師

研究責任者 山本 孝彬